

再び歩く能登の原風景。

6

遠島山公園しらすぎ橋が約1年6カ月ぶりに一般開放

平成21年



広報のと 第52号

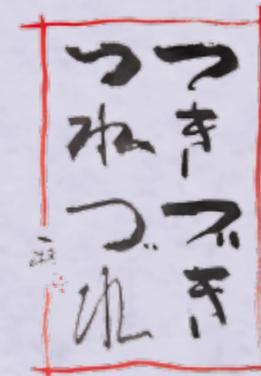
平成21年6月1日発行

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町字出津新1字1-9-7番地

☎：0768-62-10000
能登町URL：http://www.town.noto.shikawa.jp
Eメール：info@town.noto.lg.jp

雨 ふれば 雨傘を
日 てれば 日傘を
さりげなく
さしだして

水無月は
陰暦六月の異称
陰暦の六月はだいたい
七月上旬から八月上旬に
かけての時期にあたる
梅雨があけて日照りがつづき
水の乏しいころである



水無月

能登に恋した
抒情書家
室谷一柁・朱琴・文音
が描く能登の12カ月

遠島山公園「ハーモニセンター」物語の第一ページ目にロンドンの美術大学の同級生が二人、ヨーロッパから参加してくれました。能登町が私のふるさとになってから丸三年。「能登で国際的な展示会をしたい」夢が実現しました。私自身が半島暮らしの中で感動した風景や食文化を同じように感じ、受け止めてくれたことが一番の喜びでした。

今年の二月、イギリスリバプールでの展示会に次いで、六月末にはサフォーク地方の小さな港町で個展を開きます。

展示会のタイトルは「NOTO NOTE」。ヨーロッパにいれば「あなたの作品はどこからインスピレーションを得ていますか？」と常に聞かれます。私の答えは三年前から変わっていません。

「NOTOからです」

能登の空の色、風の色、海の色、山の色、田畑の色。そして何よりこの地で生きている人たち。能登とイギリス。往復する生活が私のバランスを保ち、作品づくりに刺激を与えてくれます。

ホームシックではなく「能登シック」にかかったところに、また帰ってきます。

文音



室谷一柁・朱琴・文音

平成18年、京都府美山町から能登町大箱に移住した抒情書家。イギリスと能登町を往復して活動する文音さんは5月25日、二人目となる「能登町ふるさと大使」に任命された。任命式では「能登を古里に思う気持ちは誰にも負けません」と意気込みを語った。

奥能登に
抒情書家あり
アトリエを
五友宿という